

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード

(心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 普段の暮らしの中で感じる事象を仕事に取り入れる 廣池 恒二 (JR九州相談役)

1. 休みの日になると、自宅近くの「コメダ珈琲店」に行くのが私の習慣になっています。今年のゴールデンウィークには、ランチの時間帯に9日間連続で通いました。郊外の店舗にもかかわらず、行くと店内はいつもにぎわっています。
2. このように私には、町中で心引かれる物事に出会うと、その理由を突き詰めて考える癖があります。そこで得られた気づきを、自分のビジネスに取り入れてきました。これを私は「自分マーケティング」と呼んでいます。データに頼らず、自分の感性に基づいたマーケティングです。もちろん独り善がりには陥るリスクがあります。そこで家族や親友など数人の意見を聞くことにしています。
3. 豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」も「クルーズトレイン」と呼んでいます。これも自分マーケティングに基づいて企画しました。タイの列車に乗った際には、移り変わる車窓からの眺めが鉄道での長旅の魅力だと知りました。皆さんも普段の暮らしの中で感じ入る事象があれば、その理由を突き止めて、自分の仕事に取り入れると、きっと成功につながります。

(参考:「日経ビジネス」2024年7月8日号)

## 経営者のための危機管理

### 経営を圧迫する「2024年問題」

1. 2024年4月に建設業や運輸業などで時間外労働の上限規制が適用された、いわゆる「2024年問題」について調査したところ(有効回答5099社)、経営に「マイナス」の影響と回答した企業は55.3%と半数を超えた。産業別で「マイナス」が最も多かったのは卸売業の65.8%で、建設業64.1%、製造業60.7%と続いた。
2. 業種別で「マイナス」が最も多かったのは「パルプ・紙・紙加工品製造業」の85.7%だった。一方、経営的に「プラス」の回答は、「道路貨物運送業」が12.5%で最も多かった。価格交渉やドライバーの待遇改善に率先して取り組んだ企業にはメリットが生じた可能性がある。「2024年問題」の「マイナス」の影響では、「物流・建設コスト増加による利益率の悪化」が71.4%と最多、さらなる業績悪化が懸念される。

(参考:「週刊東洋経済」2024年7月13日号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 小売業界は今後5年優勝劣敗の世界へ

1. 小売業界にとって、これからの5年は優勝劣敗がいよいよ明確になる重要な転換点になるだろう。いま、小売業界にとって最大の逆風は、足元で吹き寄せる人件費高騰の嵐だ。今年の春闘では4月時点で正社員の賃上げ率が5.49%、パートで6.11%と、大幅な賃上げとなった。労働集約的な小売業界において大きな負担増は免れない。
2. すなわち、これまで低賃金の労働力を前提に低収益でも存続してこられた企業が、いよいよ事業の継続性を問われるようになるのが、今後の中長期的シナリオといえる。ただし、重要なのが、賃金上昇と同時に、企業ごとの売り上げ格差も顕著になってきている。例えば、イトーヨーカ堂の24年2月期の既存店売上高は前年比100.5%に対し、中堅スーパー、ヤオコーの24年3月期は同107.7%と、かなりの開きが生じている。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年7月6日号)

## 古典に学ぶ

### 損得を超えて接すれば心は満たされる

1. 空海は、次のように諫めます。自分が相手より高い立場にあったとしても、奢ってはいけない。たとえ損をしたような気持ちになっても、思いやりを持って接すれば、自分自身は満ち足りるのだ。
2. どんな人にも謙虚さと優しさを持って接すれば、何より自分の心が満たされ、穏やかな気持ちになれます。すると不思議なことに、不満やいら立ちが減っていきます。人間関係も円滑になります。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)